

## トックリキワタ

学名	Ceiba speciosa
科名	パンヤ
別名	ヨイドレノキ
区分	まちかど しょくぶつ 街角の植物
分布	みなみ げんさん 南アメリカ原産 (ブラジル、アルゼンチン等)

葉の形	ひしんけい 被針形
葉の縁	きよし 鋸歯
葉の先	えいけい 鋭形
葉の種類	たしゆつしょうじょうぶくよう 多出掌状複葉
葉の付方	ごせい 互生
葉の基部	がた くさび形
実の種類	さくか 蒴果
花・萼色	ちいろ 桃色



### 説 明

ブラジル<sup>ちゅうなんぶ</sup>中南部、アルゼンチン<sup>げんさん</sup>原産の高<sup>たか</sup>さ 20m くらいになる<sup>らくようせい</sup>落葉性の<sup>ごうぼく</sup>高木<sup>みき</sup>で、幹<sup>しゅう</sup>がトックリ状<sup>じょう</sup>になり表面<sup>ひょうめん</sup>に棘<sup>とげ</sup>があるのが特徴<sup>とくちょう</sup>です。

落葉<sup>らくよう</sup>した枝<sup>えだ</sup>に径<sup>けい</sup>12-15 cm ほどの大きな花<sup>おほ</sup>を咲<sup>はな</sup>かせ、一面<sup>いちめん</sup>が桃色<sup>ももいろ</sup>になります。街路樹<sup>がいろじゆ</sup>として多く<sup>おほ</sup>利用<sup>りよう</sup>されています。